

# 兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 13 号)

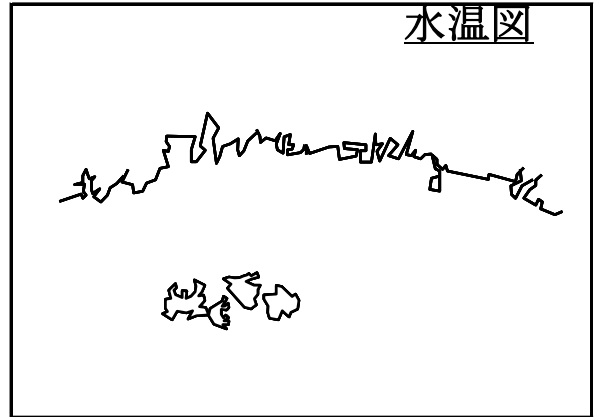
2024年 2月 7日発行  
兵庫のみ研究所

西播地先では、依然として小型珪藻のキートセロス、レプトシリンドラス等は多く確認されますが、発生量は減少傾向にあります。沖合漁場では、キートセロス、ニッチア等と大型珪藻のユーカンピアが確認されています。窒素は、概ね  $1 \mu\text{g-at/L}$  以下の値となっています。

### (珪藻)

西播地先では、キートセロス、レプトシリンドラス等の小型珪藻は多く確認されるが、発生量は減少傾向にある。沖合漁場では、小型珪藻のキートセロス、ニッチア等と大型珪藻ユーカンピアが確認されており、発生量は前回 (1/29) 調査と同様である。

各海域のユーカンピア発生量(海水 1mlあたり)は、西播地先で0~15細胞(前回値: 0~80細胞)、沖合漁場で2~20細胞(前回値: 2~50細胞)であった。また、松島では塊状の群体を形成するキートセロス・ソシアリスが多く確認された。



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	0.2	0.5	1.1	0.8
	リン	0.25	0.20	0.28	0.53
家島・坊勢	窒素	0.5	0.3	1.6	0.8
	リン	0.42	0.38	0.37	0.58

(1/29) (2/6)

## 栄養塩 (窒素) 図

2024年 2月 7日調査

